



和泉市議会だより



発行：和泉市議会 編集：市議会だより編集委員会（和泉市府中町二丁目7番5号） 電話：0725（41）1551

和泉市議会ホームページアドレス：<http://gikai02.kaigiroku.jp/izumi/index.html> E-mail：gikai@city.izumi.osaka.jp



平成18年度当初予算を可決

総額1,037億1,039万4千円（前年度比1.2%の減）

平成18年度の各会計当初予算などを審議する平成18年第1回定例会が、3月1日から27日までの27日間の会期で開催されました。

今定例会では、市長より平成18年度市政運営方針が披瀝され、それに対して4会派を代表する4人の議員から大綱質疑が行われました。また、新年度予算など主な議案は、予算審査特別委員会及び各所管委員会での慎重審査の後、すべて原案通り可決等されました。

23日には6人の議員が市政全般にわたる一般質問を行い活発な議論が交わされました。

主な掲載内容

- 市政運営方針に対する
大綱質疑・・・2ページ
- 常任委員会の審査概要
・・・・・・・・・・3ページ
- 予算委員会の審査概要
・・・・・・・・・・4～5ページ
- 一般質問・6～7ページ
- 第2回定例会の予定等
・・・・・・・・・・8ページ

大綱質疑

平成18年度の市政運営方針に対し、4会派を代表する4人の議員より大綱質疑が行われました。

(一)では紙面の都合上、一部要約して掲載しています。

市政運営方針について

【議員】平成18年度の予算が示された。「財政健全化計画」が取り組まれている中での諸事業であるが、更に事業の見直しの必要性を感じる。いかに歳出削減を図るか、市民生活への影響をいかに少なくするか、今後の大きな課題である。歳出削減の一つの方法として「事業仕分け」があるが導入に向けての市の考え方は。

【市長】限られた財源をより有効に活用し、行政の質や効率性を高め、市民の目線にたち、どのような成果を得ることができたのかといった顧客

市政運営方針について

【議員】会派を代表して大綱質疑を行う。

1、二度の市長選による対立と重なる不祥事が市民の市政に対する理解を失わせている今、市長の今後の政治姿勢に

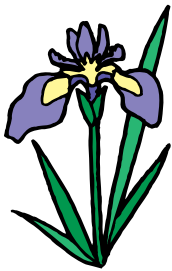
志向・成果志向の行政運営に転換していくことが重要であると考えている。そのような観点から本市では、行政評価システムを導入している。しかし「仕分けする」という意味では、直接的にはつながりにくいと考える。現在、策定中の第四次総合計画は、個々の事業を掲げるよりも、10年後の和泉市の将来像を明確にし、その成果の達成に重点を置いて取り組んでいる。「事業仕分け」に対する第三者評価については、今後、総合計画を進行管理していく中で、行政評価との兼ね合いも含めて議論してまいりたい。

ついて尋ねる。

2、行財政改革では、聖域なき事務事業の見直しを望むと共に、近年各市に見られる口利き防止条例を提案する。

3、その他①小学校における少人数学級実施②市制施行50周年記念事業③職員のボランティア意識の向上、について市長の考えをお伺いする。

【市長】市政に対する市民の信頼回復を図るべく市政刷新を訴え当選の榮に浴した。外部有識者による行政運営改革委員会を設置し改革を進めるほか、徹底した情報公開、市民に開かれた市政運営、市民と協働のまちづくり、風格と誇りを実感できる第四次総合計画の策定等しつかりした行財政体質への転換を図る。口利き防止条例は議会と共に検討していく。



市民の安全・安心の確保につながる市政について

【議員】新市長らしく、慎重に

一定の改革の芽を育てているが、敬老祝い金や障害者等給付金の削減、介護保険料の大幅な値上げ等市民への痛みがかなり表に出た予算編成である。介護保険法の改正や障害者自立支援法における具体的な施策が見えてこない中、市民の不安は高まっている。先に計画ありきの従

来事業や諸制度などの見直しによつては、「痛み」の分け方が違つてきたはずである。市民へのサービスの低下や市民負担の増加について、市長はどのような考えか。

【市長】長期的にも健全な財政運営を安定させることが重要な課題であり、断腸の思いで一定の見直しをした。遠からず本格的な地方分権の時代が到来しようとしている中、本市においては、これまで以上に自主性と自立性を高め、地域の個性を活かしたまちづくりを目指していく。

人権・同和行政について

【議員】府が依頼してきた

「行政データを活用した実態把握」は、これまで特別措置として同和対策事業を実施してきた地域のデータを報告せよとしている。また府教委は、平成18年度に実施する「学力等実態調査」を利用して、旧同和地域の実態把握のため対象地域を有する小中学校のデ

ータの提出を求めているが、市はどうするつもりなのか。

【市長】「行政データ」や「学力等実態調査」は、今後の同和問題の解決のためと考え府と協力し実施するものだ。また、「行政データ」は統計的な数字で個人情報には該当しないが、「学力等実態調査」の個人情報外部提供については、個人情報保護審査会に諮問しているところだ。

【議員】法的にも実態的にも存在しない旧同和地域との比較の調査であり、同和問題の解決とは無縁のものだ。調査に協力せず中止すべきだ。

常任委員会 審査報告

第1回定例会で上程された議案は各所管委員会に付託され審査が行われました。ここでは紙面の都合上、それぞれの委員会での質疑の一部を掲載します。

総務文教委員会

和泉市国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例制定について

【委員】対策本部の委員及び専門委員には法律家とか色々な分野の人たちがいると思うが内容について聞きたい。また、費用弁償等があるのか。

【理事者】対策本部は職員から選任することになっている。よって、費用弁償は発生してこない。

【委員】和泉市の対策本部長は誰になるのか。

【理事者】市長ということでは法律で規定されている。

【委員】18万市民を、こういう事態が起きたときに、本当に避難させることができるのか。

【理事者】政府の見解もはっきり出ていないので市町村についてもお答えできる状態ではない。

ない。国、府の指導により運営をしていきたいと考えているのでご理解いただきたい。

【委員】和泉市にいざとなった時、常に緊急対策についての準備資料をどこかの部署に置いておく気はないか。

【理事者】平成18年度中に国民保護計画を作成する流れになっているので関係する情報収集はしておく必要があると考えている。

産業建設委員会

和泉市建築基準法施行条例の一部を改正する条例制定について

【委員】改正前は増改築の際、即座に建築基準法の関係規定に適合させる必要があったが、改正後は工事に関係する基準に順次適合させることで可となった、その認識でいいのか。

【理事者】そのとおりである。

【委員】手続の中でフレキシブルディスクから磁気ディスク等とあるが、言葉の意味を具体的に説明いただきたい。

【理事者】フレキシブルディスクとは一般的にフロッピーディスクである。近年、大量なデータを記録できる光ディスク（C・DVD）や光磁気ディスク（MOディスク）と呼ばれる記録媒体等が開発されたことにより改正するものである。

【委員】非常に分かりにくいので市の条例では、市民が分かるような中身で表現していただくことを要望する。

民生企業委員会

水道事業管理者の非設置に伴う関係条例の整備に関する条例制定について

【委員】泉北水道等の問題で意見を言う場合に権限等の兼ね合いがあると思うが、実務面での割り振りはどうされるのか。

【理事者】今後は市長が権限を行うということなので助役の職務分担の中で対応していきたい。

【委員】助役が担当するに当たり条例改正の必要はないのか。

【理事者】現在もそうなのではないので改正の必要はない。

【委員】危機管理体制の充実強化とはどのようなことか。

【理事者】今後は災害時の水をどうするかという横断的な立場での水道部の意味合いも高くなってくるので市長直結の形で施策に反映できることで効果があると認識いただきたい。

議決結果一覧表

件名	付託委員会	結果
●平成18年度和泉市一般会計予算	予算審査特別委員会	可決 (賛成多数)
●平成18年度和泉市国民健康保険事業特別会計予算	予算審査特別委員会	可決 (全会一致)
●平成18年度和泉市老人保健事業特別会計予算	予算審査特別委員会	可決 (賛成多数)
●平成18年度和泉市公共用地先行取得事業特別会計予算	予算審査特別委員会	可決 (全会一致)
●平成18年度和泉市公共下水道事業特別会計予算	予算審査特別委員会	可決 (全会一致)
●平成18年度和泉市介護保険事業特別会計予算	予算審査特別委員会	可決 (賛成多数)
●平成18年度和泉市和泉診療所事業特別会計予算	予算審査特別委員会	可決 (賛成多数)
●平成18年度和泉市水道事業会計予算	予算審査特別委員会	可決 (全会一致)
●平成18年度和泉市病院事業会計予算	予算審査特別委員会	可決 (全会一致)
●土地改良事業の施行について (除谷池改修工事)	予算審査特別委員会	可決 (全会一致)
●公の施設の指定管理者の指定について (和泉市温水プール)	予算審査特別委員会	可決 (全会一致)
●和泉市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	予算審査特別委員会	可決 (全会一致)
●和泉市国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例制定について	総務文教常任委員会	可決 (全会一致)
●和泉市特定宅地開発の手続に関する条例制定について	産業建設常任委員会	可決 (全会一致)
●水道事業管理者の非設置に伴う関係条例の整備に関する条例制定について	民生企業常任委員会	可決 (全会一致)
●平成18年度和泉市一般会計補正予算 (第8号)	各所管常任委員会	可決 (全会一致)
●教育委員会委員の任命について	同意	可決 (全会一致)
その他、報告5件、議案17件、監査報告10件、意見書2件、決議1件が可決等されました。		

予算審査特別委員会を開催

一般会計予算は494億円（前年度比2.8%の減）

平成18年度各会計予算及び予算関連議案は、予算審査特別委員会に付託され、3月9日、10日、13日、14日、15日の計5日間にわたり慎重に審査されました。

3月27日の本会議では委員長の審査報告を受け、一部の議案については反対討論が行われましたが、すべて原案どおり可決されました。

平成18年度当初予算

項 目	金 額	前年度比
一 般 会 計	494億 円	△2.8%
特 別 会 計		
国民健康保険事業	149億7,804万2千円	1.2%
老人保健事業	119億9,745万4千円	6.1%
公共用地先行取得事業	4億6,173万1千円	△1.7%
公共下水道事業	43億3,475万8千円	△0.6%
市街地再開発事業	15億6,154万5千円	△9.8%
介護保険事業	79億 788万9千円	△0.7%
和泉診療所	4億2,658万2千円	
企 業 会 計		
水道事業会計	50億4,305万 円	2.8%
病院事業会計	75億9,934万3千円	△11.9%
合 計	1,037億1,039万4千円	△1.2%

(△はマイナス)

委員名

◎は委員長、○は副委員長

◎友田 博文	○金児 和子
早乙女 実	原 重樹
山本 秀明	横山 勝
吉川 茂樹	辻本 孔久
柏 富久蔵	西口 秀光
浜田 千秋	大橋 涼子
着本 直幸	

●反対討論●

地域子育て支援やエンゼルハウスの事業などの子育て支援の充実、新設校開校・南横山小学校の特認校実施など評価できるものもあるが、問題もある予算となっている。それは人権・同和行政関連予算である。法律も終了し政府方針も変わっているのに人権行政の名で継続されている不公正な事業を見直し終了すべきであるが、NPO法人ダッシュへの委託料や人権協会への助成金が計上されている。さら

●賛成討論●

一般財源総額は歳出を厳しく抑制する内容があり依然として厳しい財政環境には変わりはない。このような中、18年度は井坂市長初めての予算編成であり「風格と誇りを実感できる都市」の実現に向けて住民福祉の充実に努めるため、効率的な予算配分に努められている。本予算では、市政50周年記念式典をはじめとした各種記念事業への予算が計上されている。次に、「安全・安心の確保」への対応については、小学校、幼稚園及び保育園

一般会計予算

に、市民等を対象に「人権意識調査」を実施するための委託料を計上し、府事業とはいえ個人情報保護法にもふれる旧同和地区の子どもや保護者を特定するどのような学力調査に協力するとの表明もされている。次に厳しい財政状況と言っているが、緊急性・必要性・採算性が曖昧な（仮称）農業拠点施設のPF募集資料の作成委託料等が含まれている。一方、市民負担では保育料の大幅値上げが新年度から実施される。また、南松尾

保育園が民営化され、さらに横山地域での公立保育園の民営化をすすめるための民間保育園移管選考委員会予算も計上されている。国の税制改革や障害者自立支援法の施行など、福祉・社会保障切り捨ての中で地方自治体として高齢者や障害者にあたたかい施策展開が求められているにも関わらず、障害者等給付金の引き下げや敬老祝金の節目支給の見直しを実施するなど認めることができない。よって本一般会計に反対する。

への監視カメラや電子錠による不審者侵入防止対策が強化され、また消防本部及び小中学校の耐震診断を行うなど防災・防犯対策の充実強化に対して特に重点的な予算配分に努められている。教育施策では南横山小学校での小規模特認校事業などの予算が計上されるなど、新規施策に積極的に取り組まれている。既存施策についても（仮称）南部リージョンセンターの施設建設への着手や都市基盤の整備、細やかな福祉施策等、ハード・ソフト両面にわたり施策が

推進されており、高く評価する。なお、敬老祝金・障害者等給付金が見直しされたことに併せ、税制改正に伴う非課税限度額の廃止やこれに伴う各種サービスの波及により、高齢者等の社会的弱者にとって負担増となることが懸念されるので、これら情報の周知をはじめ適切な配慮を願うものである。今後も財政健全化の取組みを着実に実施し、次の世代に負の遺産を先送りしない簡素で効率的な行政運営を行うよう重ねて要望する。

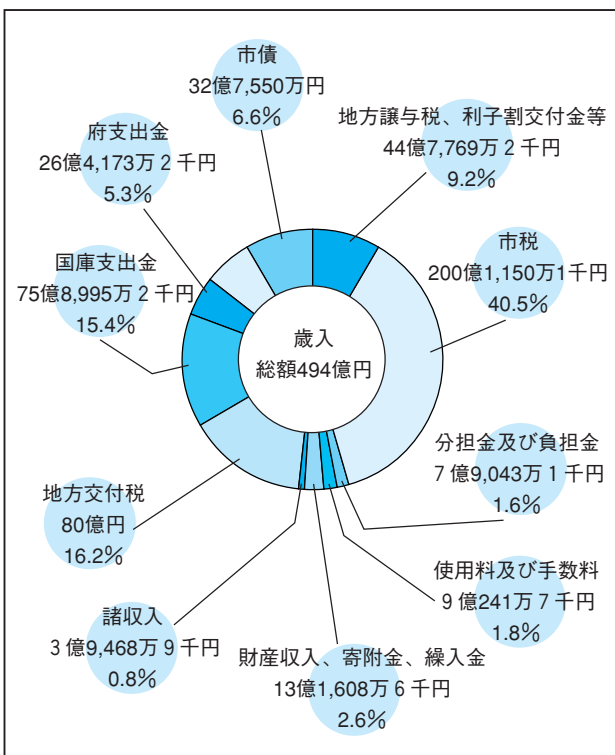


予算審査特別委員会での質問

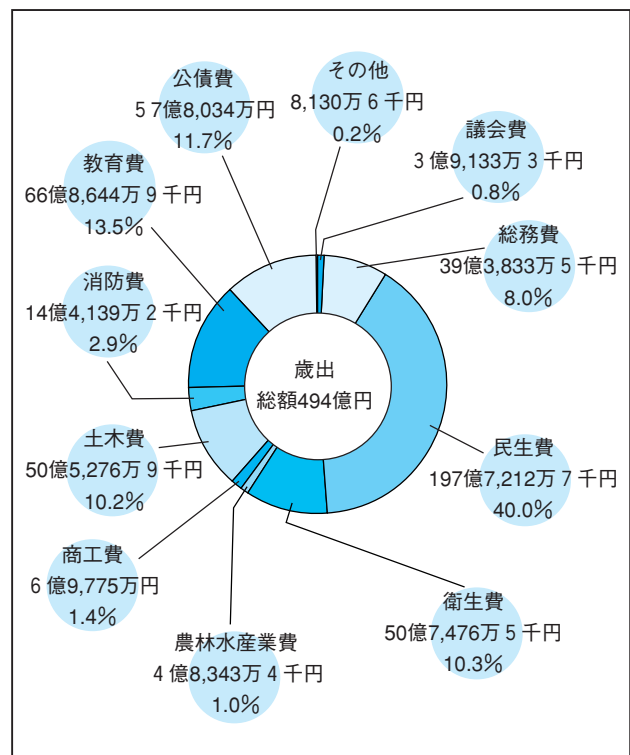
ここでは紙面の都合上、質問項目の一部を掲載しています。

- 人権意識調査の目的と内容及び委託先について
- 女性問題の総合電話相談員について
- 男女共同参画施策推進会議委員報奨費の目的と委員構成及び市民委員の公募について
- 庁舎の耐震診断について
- 大阪電子自治体推進協議会の開催回数について
- 職員研修の今後のあり方と方針等について
- 安全なまちづくり推進協議会の活動内容について
- コミュニティセンターにおけるチケットの受託販売の可否について
- 保育所保育料の改定内容について
- 障害者給付認定審査委員会のメンバー構成について
- 心配ごと相談事業の委託先について
- 市営葬儀に対する今後の市の考え方について
- 生活保護の世帯数と保護率及び被保護者の自立指導について
- 乳幼児医療の審査支払手数料について
- 老人集会所の今後の整備計画について
- 企業誘致推進協議会負担金の内容について
- 本市の雇用情勢と障害者の雇用状況について
- 市営住宅内の駐車場の充足率と利用率及び空き区画数について
- 葛の葉町区画整理事業地内の防犯灯の設置について
- 駐車禁止区域の設定について
- 適正就学対策審議会委員報酬の増額理由について
- 防災士について
- 南横山小学校の小規模特認校の取り組みについて
- いずみ太鼓振興事業実行委員会負担金の内容について
- 温水プール指定管理者の選定に係る経緯等について
- 特別支援教育の今後の取り組みについて
- 今後の消防署所の配置構想について
- 雷対策について
- 通学路の安全対策について
- 消防団の出勤及び訓練報酬について
- 公債費事務手数料について
- 各基金の現在高について
- 定率減税の縮減による市税の影響額と対象人数について
- 老年人者控除廃止に係る市民への周知方法について
- 一般・退職の療養給付費と高額医療費の増減理由について
- 老人保健の対象者数について
- 水洗化率アップのための方策について
- 今後の再開発事業の進め方と事業協力者との関係について
- 介護保険の被保険者数について
- 介護保険の被保険者1人当たりの支給額について
- 介護保険の認定率について
- 和泉診療所の職員構成について
- 今後の水道事業の収支見通しについて
- 今後の病院事業の財政見通しについて

一般会計予算の歳入内訳
総額494億円（100%）



一般会計予算の歳出内訳
総額494億円（100%）



一般質問



今定例会では6人の議員から市政全般にわたる一般質問が行われました。

ここでは紙面の都合上、一部を要約して掲載しています。

活力ある労働環境について

【議員】「地域就労支援事業」や「無料職業紹介センター事業」など活力ある労働環境実現のため、積極的に事業を展開しているが、特に就労困難者のなかでも、障害のある人に対する支援の現状について伺いたい。

【理事者】現在、国の「障害者・生活支援センター」の設置を図るために準備センターを設置し、指定要件を満たすために必要な業務を行っているところである。現状は、就職に就いた方が13名、職場で

実習を行った方が30件となっている。また、大阪府・阪南各市町村と連携して障害のある人をはじめ、就労困難者の支援に取組む団体、社会貢献を模索する企業との出会いの場を提供し、企業からの業務委託や共同事業を推進するため「地域仕事づくりフェア」を開催した。今後、関係機関、関係課とも連携し、障害者の就労支援について積極的に推進してまいる。

住民合意の地域開発について

【議員】工場跡地等に、パチンコ店や葬儀場等地域住民に大きな影響を及ぼす施設が計画されたら、街づくりの視点でどのように指導するのか。

【理事者】近隣住民とのトラブルが多く、大きな課題と考えている。構想段階で住民に周知し、環境に配慮した計画となるよう「特定宅地開発における手続き条例」を今議会に上程したところである。「都市計画提案制度」の活用も進めていきたいと考えている。

【議員】提案制度は地主の同意を得られないなど、活用しにくい面がある。使いやすくするための方策は。

【理事者】市の支援も必要である。ホームページ等で具体例を積極的に知らせていく。

【議員】住宅と工場が混在する昔ながらの町並みを大切にしながら「安心・安全・品のあるまち」を誰もが望んでいる。「この建物は建てないで欲しい」というポイント的な要望は、規制条例しかないのではないのか。是非積極的に他市の条例など研究してほしい。



和泉府中駅前再開発事業について

【議員】和泉府中駅前再開発事業について。事業が遅れている理由は。市長が変わり見直しをするとのことだが、その内容は。また和泉府中の駅舎整備事業と並行して推進してゆくとのことだがその取り組み内容と今後の市民への周知方法は。

【理事者】本事業が遅延した大きな理由は当該事業区域内用地集約の合意形成に不測の日数を要している為である。現時点の見直し内容は施設建築物である商業・公益棟の床のうち市取得予定の公益床の取扱いについて用途変更や民間に売却するなど採算性、財政負担軽減等を図るなど検討を加えている。またJR和泉府中駅を橋上化し駅の東西を結ぶ自由通路等の整備を行う。駅舎位置など広く市民の意見を伺うべく検討協議会を立ち上げ駅利用者の利便性と安全性を確保し、整備の円滑化を図り再開発事業と平成22年度の同時期の完成を目標。広報等で駅舎整備事業の取り組み状況など新しい情報の周知を図る。

介護保険について

【議員】介護保険運営協議会は公開されているが、新設される地域包括支援センター運営協議会も公開すべきだ。

【理事者】協議会の事務には地域包括支援センターの設置や運営・評価に関すること及びセンターの職員確保等がある。情報公開条例の規定では、市の機関が行う許可・認可等の事務事業に関する情報であって、公開することにより目的を損ない、公正かつ円滑な執行に著しい支障が生ずると認められるものについては公開できないとなっているので、今後検討していく。

【議員】条例では「該当する情報が記録されている公文書については」ということで先ほどの項目があるが「情報の公開をしないことができる」ということであり、その場合でも「その部分を容易に、かつ、情報の公開の請求の趣旨を損なわない程度に分離できるときは、その部分を除いて公開をしなければならぬ」となっている。この点をよく踏まえて検討すべきだ。

環境施策について

【議員】和泉市環境基本計画では、大気・水・土壌のそれぞれについて幅広く目標や課題が提示されている。その内の水の問題に関連し、水源涵養林として重要な森林に対しての市の基本的考えは。

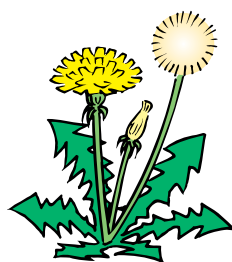
【理事者】森林は、水源の涵養をはじめ、山地災害の防止、二酸化炭素の吸収による地球温暖化の防止等、多面的な機能を有し、森林を守り育てていくことが重要であると認識している。森林の保全につい

ては、適正な森林管理を行えるよう森林所有者に造林補助事業などを実施しているが、木材価格の低迷等により林業経営は逼迫しており、所有者だけでは適正な管理が困難な状況であり、恩恵を受ける市民のボランティアの力も借りながら森林を守り育てていきたい。

【議員】森林の保全については、林業の活性化が重要であるが、市の取組みは。

【理事者】林業振興については、市内産材の利用促進が重要であり、「和泉市木材利用推進計画」を策定し、公共事

業の建設、土木事業等に積極的に利用を図っている。又、民間住宅等への利用促進を図る為、大阪府をはじめ、関係機関と連携し、地域材・国産材を利用した住宅建築等に対する低利融資制度や固定資産税相当分の減免、補助制度等も研究していきたい。



あれから、どうなった？

【議員】市長は昨年の資産に関する質問に対し「負の部分」についても近日中に解決すると答弁している。資産公開も

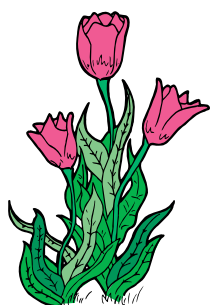
行っているが内容は自宅を中心としたもの、その2ヶ月前、市長就任1ヶ月後の7月20日に共同住宅24戸を購入、市長名義で移転登記されている。やがて、資産公開で公表されると思うが、事実と認識させ

ていた。購入額は問いませんが17年度における購入後の7月～12月迄の6ヶ月分の家賃収入、950万円の確定申告は誰がされたのかご答弁下さい。

【理事者】購入については事実であり、私の収入として確定申告を行った。

【議員】介護保険料は府下トップクラスになるが市民の理解が得られないので、一人でも反対する。また、障害者福祉作業所からの補助金が返還

されたとのことであるが、今なお法律違反であるとの思いがある。さらに、市長の政治資金規正法上の訂正についても疑義がある。



決議・意見書

今定例会では次の意見書2件、決議1件を可決し、内閣総理大臣や関係する各大臣等に送付しました。

◆抜本的な都市農業振興策の確立を求める意見書

◆さらなる総合的な少子化対策を求める意見書

◆同和行政に関する決議

その他の質問項目

- 男女共同参画条例について
- 感染予防対策について
- 高齢者就労支援について
- 業務の効率化
 - ・情報の共有について
 - ・さらなる戦略
 - ・学校間ランについて
 - ・セキュリティについて
- 市政運営方針から
 - ・商工業の振興について
 - ・新たな産業基盤の形成
- 学校教育の充実について
- 環境施策について
 - ・河川並びに用水路の改修工事について
- 高齢者施策について



1 *市議会ホームページを 開設しています

市議会の内容をより分かりやすく、早くお伝えするため、ホームページを開設し、情報の提供を行っています。

市議会の最新のデータや議会制度等も紹介しており定例会の流れなどを分かりやすく説明しています。

また、定例会毎に会議での内容を記録した「会議録」を作成しています。

市議会事務局、市政情報コーナー及び市立図書館で自由に閲覧でき、議会のホームページでもご覧いただけます。なお、3月定例会の会議録は6月初旬に完成の予定です。

和泉市議会ホームページアドレス

<http://gikai02.kaigiroku.jp/izumi/index.html>

2 *ご意見ご感想

読みやすく親しみやすい「市議会だより」の紙面づくりのために、皆さまのご意見をがきやFAX、Eメール等でお寄せください。

〒594-8501

和泉市府中町二丁目7番5号

和泉市役所 議会事務局

電話：41・1551（内線1723）

FAX：43・4525

Eメール：gikai@city.izumi.osaka.jp

人事案件

今定例会では、次の方の再任に同意しました。

◇教育委員会委員

渡辺 豊子氏（和泉市光明台三丁目）

入社式や入学式も終わり新入社員・新人生の方は夢と希望を胸に毎日をはたらつと過ごされていることと思います。市議会だより第34号をお届けします。3月定例会では新年度予算も決まり、平成18年度が本格的に始動しました。編集委員一同心を新たに、読みやすく、親しみやすい紙面づくりに取り組んでまいります。

編集後記



傍聴してみませんか

場所：議場 本館3階（入口は本館2階資産税課横）

：委員会室 別館3階

定員：議場 40席

（車いすスペース
3台分）

：委員会室 7席



市議会では、市民の皆さまの生活に直結した問題が議論されています。市政を身近に感じていただくためにも、ぜひ傍聴してください。

傍聴は、備え付けの傍聴券に住所、氏名等をご記入いただくだけで簡単にできます。

いずれも、開会予定時刻の15分前から先着順に入室できますが、定員を超える場合は抽選となりますのでご了承ください。

第2回 定例会の予定

平成18年第2回定例会は、次の日程で開催される予定です。議事の都合により日程が変更される場合もありますので、詳しくは市議会事務局までお問い合わせください。

電話：0725・41・1551（内線1723）

日 程	会 議	場 所	開 会 時 間
6月13日(火)	議会運営委員会	委員会室	午後 1時
6月20日(火)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時
6月21日(水)	民生企業委員会	委員会室	午前10時
6月22日(木)	産業建設委員会	委員会室	午前10時
6月23日(金)	総務文教委員会	委員会室	午前10時
6月26日(月)	議会運営委員会	委員会室	午後 1時
6月29日(木)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時
6月30日(金)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時
7月 3日(月)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時

傍聴者数のお知らせ

平成18年第1回定例会の本会議傍聴者数
3月1日(4人)、23日(50人)、27日(1人)
合計55人